

第1回\_高齢者福祉医療戦略会議 (H24. 2. 3 開催)

「10年後の高齢者の生活イメージ」たたき台(案)

分野	生活イメージ
医療・介護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病気になっても自宅で医療を受けられる。</li> <li>・病気や怪我の際、自分もしくは誰かのサポートで医療機関へ行き、十分な医療を受けることができる。</li> <li>・介護が必要になった際も自宅で生活を続けることができる。</li> <li>・介護等の理由で自宅での生活が難しくなった際には、サービスが整っている施設を利用することができる。</li> <li>・自宅で最期を迎えることができる。</li> <li>・健康な生活を少しでも長く続けられる。</li> </ul>
住まい・住環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改修等をしながらも、自宅に住み続けられる。</li> <li>・自宅で生活することが困難になった際には、サービスや施設環境が整っている所に住み替えができる。</li> <li>・家族・近隣とのコミュニケーションが十分に取れている。</li> </ul>
食生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事の調達と用意を自分で行うことができる。</li> <li>・自分で食事の調達と用意ができない場合は、誰かが栄養バランスがとれた食事を用意してくれる。</li> <li>・好きなものを美味しく食べることができる。</li> <li>・誰かと一緒に楽しみながら食事を摂ることができる。</li> </ul>
移動・交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が行きたいところへ、好きなときに、安全に自分で行くことができる。</li> <li>・自分で移動ができない場合には、自分以外の誰かが目的地へ連れて行ってくれる。</li> </ul>
生きがい・就労 /ライフデザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働きたい人が無理なく働いている。</li> <li>・自分の趣味の活動を楽しんでいる。</li> <li>・自分の知識や経験を活かして、誰かの役に立てる。</li> <li>・誰もが自分なりの高齢期の生活を描けている。</li> </ul>
支え合い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域にいる身近な人に、買い物やごみ出しなどの日常の作業をサポートしてもらえる。</li> <li>・自分が誰かを支えられる時は、見守りや食事・移動等のサポートをすることができる。</li> </ul>

